



入学おめでとう大会(2月4日)

このコーナーでは、市内各地で行われるイベントや市民の活動をご紹介します。皆さんの身近で行われる楽しい催しなどありましたら、市役所総務課広報聴係(☎43-7025)までお知らせください。



舞台発表の独鈷雌子



会場がおいしそうな香りに包まれました

トリづくしの「比内とりの市」

(1月21、22日)

比内地域の冬の風物詩「比内とりの市」が、比内グラウンドで行われました。2日間とも好天に恵まれた今年は、例年よりも多い4万人が来場。恒例の「比内地鶏かやき鍋」や「比内地鶏千羽焼き」は、完売するほどの売れ行きでした。キャッチボールの要領で卵を投げ、うまく捕れた時の距離を競う「比内地鶏卵キャッチα」や、比内地鶏を走らせ順位を当てる「比内鶏ダービー」などが行われ、訪れた来場者はトリづくしの冬祭りを楽しみました。

市内各地で合同年祝い

(2月1日)

厄年の災いを払い、福に転じさせる伝統行事「合同年祝い会」が市内各地で行われました。各会場には数え年で60・42歳になる男性、33歳になる女性が一堂に会し、久しぶりに再開した級友や来賓の恩師らと杯を交わして、人生の節目を祝い合いました。



西館地区の神事

福は内〜福は内〜

(2月3日)

節分の3日、市内各地で豆まきが行われました。大館八幡神社では、氏子らで組織する大館八幡会(金澤宏会長)の主催で毎年行われていて、今年で38回目。数え年で42歳となる年男や会員などが「裃姿」になり、境内に集まった八幡幼稚園の園児や住民らに向け「福は内、福は内」と勢い良く豆をまきました。神事で鬼を追い払った福豆をまくことから「鬼は外」の掛け声は無く「福は内」だけ。次々とまかれる豆を園児らは夢中で拾い、両手いっぱい縁起の良い豆を持って喜んでいました。



威勢の良い豆まきでした